

郡中まち歩きマップ

2022年(令和4)12月 伊予市商業協同組合
伊予市米湊 827-4 TEL089-946-7245

現代によみがえる五色姫

五色姫伝説のまちと五色浜界限

五色浜には源平の戦いに敗れた平家の五人の姫たちが海に身を投げ、赤、緑、黄、黒、白の五色の石になつたという哀しくも美しい伝説が伝わっています。土地の人々は石になつてしまった姫達が生き返ってくれることを日々願いました。人々の涙が散り石にふりそそぐと不思議なことに海のかなたから五色姫達が再びよみがえり土地の人々と幸せに暮らしました。という復活譚にちなみ平成元年から毎年3月第4日曜日に「女性の祭典～五色姫復活祭」が華やかに開催されています。五色浜界限は歴史、文化、景観のシンボルゾーンです。

手づくり交流市場 町家

“町家に来れば伊予市が見える”

- 志乃や(しょうゆラーメン) ・みこパン
- カフェ食堂 福 ・和みぱん
- ぽんぽこ(たこ焼き・うどん)
- 町家バル 桑原(カレー) ・子どもあさがり
- 岡崎鮮魚 ・専門店 metome
- 町家特産品販売所
- ハーブガーデンmoco

※商店は主に伊予市商業協同組合加盟店を掲載しています

伊予鉄郡中港駅
JR伊予市
アンパンマン列車が走ります

ヤマキ株式会社
マルトモ株式会社
山惣商店
城戸洋品店
はぎだ酒店
法皇寺
五色浜神社
五色浜旧灯台

五色浜ゾーンは郡中の歴史や文化を体感できる人気スポット

- ・彩浜館 地域の公会堂。伊藤博文が1909年(明治42)に訪れています。
- ・さざえ堀 1812年(文化9)築造。螺旋状に石を積んだ珍しい堀。萬安港の潮の干満をみたものです。
- ・郡中町創業の碑 郡中の町づくり250年を記念して、1894年(明治27)に建てられた。
- ・五色浜神社 明治4年に天神社と住吉神社を合祀して五色浜神社として改称しました。拝殿正面に掲げられた神額(神社の名称を書いたもの)は伊藤博文が書いたものです。
- ・五色浜旧灯台 石造の旧灯台。明治初期からの近代建築の雰囲気を感じさせます。

民力で築いてきた特異な歴史をもつ「まち」

◎商人が私財で町を拓く

江戸時代前期(1636年)上灘村(伊予市双海町上灘)の商人、宮内兄弟は牛飼ヶ原と呼ばれていた松原(現在の灘町一帯)の約49,000坪の開発に着手しています。灘町は商人が私財で開発した町で、一区画の奥行きが100mを超える商家もあります。1637年、大洲藩蔵屋敷が灘町に移され、近隣の小川町(現在の湊町)や三島町も拓けていきます。

◎自普請(じふしん)で港を造る

江戸時代後期(1812年～1835年)の24年の歳月を要して灘町の安広川の河口に萬安港が築造されました。ここに至る経緯が特異で、灘町の町方等は長年の夢であった港の築造を大洲藩に強く要望し、自普請(民間が責任を持って行う工事)として許可されたそうです。工事の形態は自普請でしたが、大洲藩と町方等の官民共同事業という異例な形でした。

萬安港による交易が盛んになり、町は飛躍的に発展・繁栄する町。郡中に仲田蓼村の俳諧、陶惟貞による教育、小谷屋友九郎の磁器、郡中十錦などが広まり、郡中町人文化を形成していきました。いわばミニミニ堺のような町だったようです。

◎積極果敢に挑戦

明治期には地域近代化のための事業に積極果敢に挑戦しています。郡中港の改修と土砂の浚渫、彩浜館の建設、豊川渉等による郡中町創業の碑の建立、宮内治三郎等による郡中～藤原(現在の伊予鉄道土橋駅付近)に南予鉄道の開通、宮内直吉等の伊予汽船会社により鉄鋼船「伊予丸」の建造や、定期航路の開設、藤谷豊城による郡中港の大改修など。また、積津港により江山焼が創始され、人々に珍重されて郡中町人文化の有終の美を飾ったと言えます。大正期には郡中港近隣に削り節業が興り、ヤマキ、マルトモ、オカベの三社は現在に至っています。郡中まちなかには江戸中期から建設された面影ある町家が25棟余りあります。

大師堂

弘法大師の石像を
祀る仏堂

郡中を代表する一対の
江山焼で造られた
一対の金剛力士像が
建っています。江山焼の
創始者の河村鹿蔵
(梅江山)が昭和初期
に制作したものです。



仲田邸(大正期築)



藤村邸 (明治期築)



藤村邸
美容
きたがわ

郡中まち元気サロン 来良夢(こらむ)

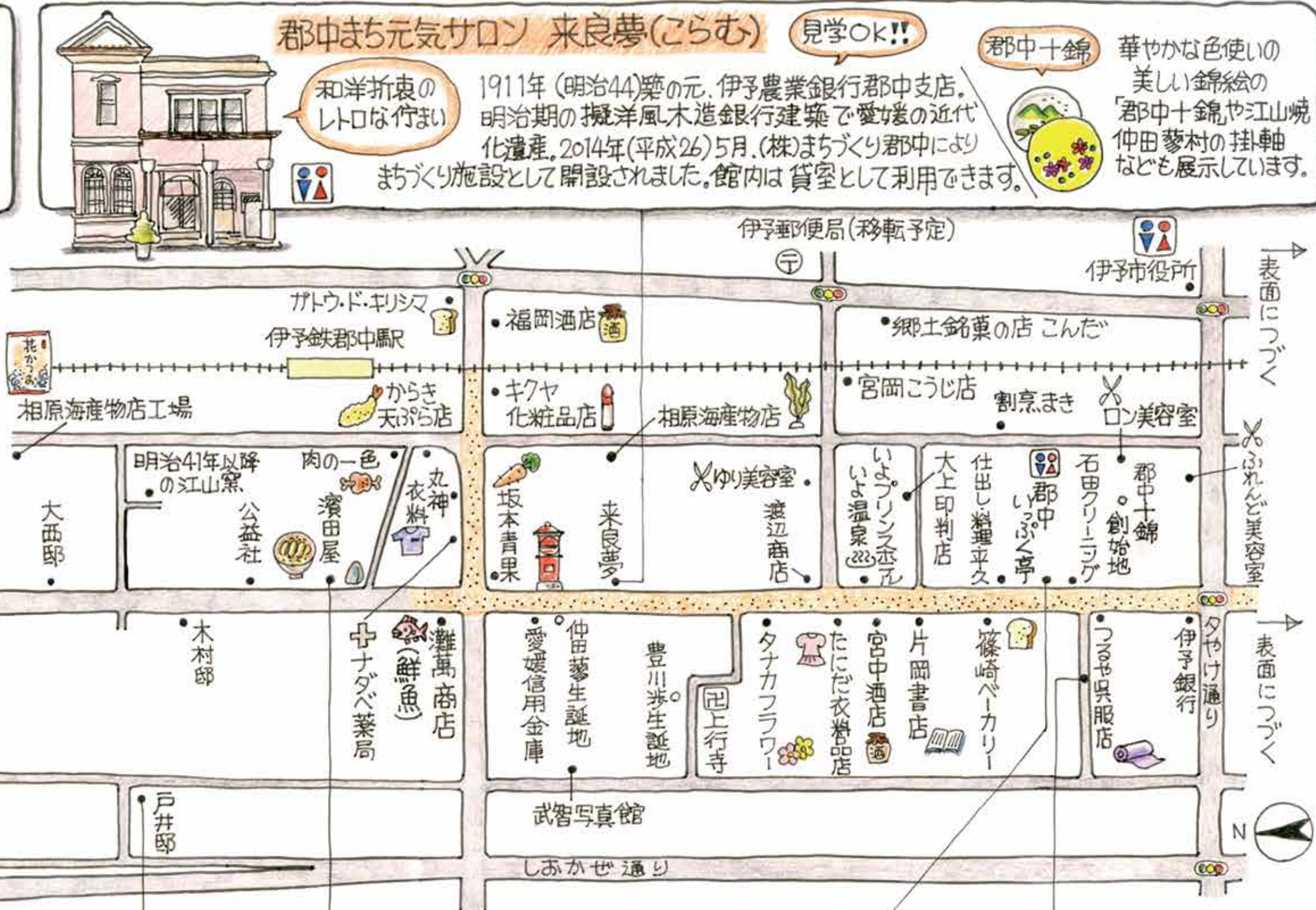
見学OK!!

和洋折衷の
レトロな佇まい

1911年(明治44)築の元、伊予農業銀行郡中支店。
明治期の擬洋風木造銀行建築で愛媛の近代
化遺産。2014年(平成26)5月、(株)まちづくり郡中により
まちづくり施設として開設されました。館内は貸室として利用できます。

郡中十錦

華やかな色使いの
美しい錦絵の
「郡中十錦」や江山焼
仲田夢村の掛軸
なども展示しています。

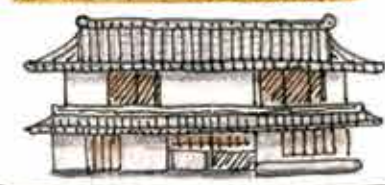


湊神社

湊神社には「克鯨一字一石塔」があります。明治43年頃ここで鯨を引き上げたそうです。その時の様子を描いた絵馬と写真が飾ってあります。その写真の反対側には伊藤博文が彩浜館に来遊した際書いた神額があります。今でも漁民からの尊敬も厚く、氏子にはまだ一度も漁船の遭難で亡くなった人はいないそうです。

湊神社 鯨塔

戸井邸(明治期築)



濱田屋(昭和初期築)

かつ丼、かつ重が有名

定休日/不定休
営業時間
11:00~14:30
17:00~20:30



～郡中いっぷく亭～
誰もが立ち寄れる地域の交流スポット

フラワーアレンジメント、お習字、ビーズ教室など色々な教室が開催されていてボランティアのスタッフが運営しています。お手洗、休憩などお気軽にご利用下さい。

年末、年始、お盆、地方祭の期間を除く平日10:00~15:00



郡中のまちの歴史(表面記載)に紹介した江戸時代の興行が100mを超える商家の広さを体験できるスポット

この小路は109mあります